

エアゾール 吸入指導 チェックリスト

患者名		日時	年 月 日
ID		薬局名 薬剤師名	
チェック項目			チェック
用法/用量	<input type="checkbox"/> 患者さんに指示された用法用量 (朝 <input type="text"/> 吸入、夜 <input type="text"/> 吸入、1日 <input type="text"/> 回)を理解している。 ・吸入回数を守り、 症状が無いときでも、毎日吸入 するよう伝えてください。		
事前準備	<input type="checkbox"/> キャップを外します。 <input type="checkbox"/> 吸入器を5回振ります。 <input type="checkbox"/> 吸入器のポンベを押すと霧状のガスが出ます。(空噴霧) ・初回のみ必要な操作で、毎行わないように指導して下さい。 ・空噴霧回数は薬剤により異なります。		
吸入操作	<input type="checkbox"/> カウンターで残量を確認。(カウンターがない薬剤もあります)		
	<input type="checkbox"/> キャップを外す。		
	<input type="checkbox"/> 吸入器を5回振ります。 ・他のMDI製剤との混乱を避けるべく、振る必要のない製剤も振ると指導します。		
	<input type="checkbox"/> 薬剤を吸入する前に十分に 息を吐く 。 ・十分に薬剤を吸入する為に、とても大切な事も伝えます。		
	<input type="checkbox"/> 吸入口を歯でくわえ、舌を下げる。(クローズドマウス法) <input type="checkbox"/> ポンベを押すと同時に、2秒以上かけてゆっくり吸い込む。 ※オープンマウス法でも可。 ・吸入時に「同調できない」「刺激でむせてしまう」などの場合にはスパーサーの使用を考慮し、コメント欄に記載願います。		
	<input type="checkbox"/> 吸入口から口を離し、5秒間息を止める。 ・息止めは無理はしない程度にしてください。		
	<input type="checkbox"/> 息をゆっくり吐き出す。 ・吸入口には息を吹きかけないでください。		
	<input type="checkbox"/> 吸入後、キャップをする。 ・キャップをする前に、吸入口を拭くようにします。		
	<input type="checkbox"/> もう一回吸入する時は、残量確認からやり直します。		
うがい	<input type="checkbox"/> 必ずうがい(ガラガラ・ブクブク)を各3回実施する。		
注意点	<input type="checkbox"/> 主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。患者の混乱を防ぐため、振る必要のない製剤も振ると指導します。		
	<input type="checkbox"/> 既にオープンマウス法で問題なくできている患者は、無理にクローズドマウス法に変更する必要はありません。初めて吸入する患者は、クローズドマウス法で指導します。		
	<input type="checkbox"/> 吸入ステロイドの場合は、口腔内のカンジダや嘔声などの副作用を予防するため、うがいの重要性を伝えます。		
初回	(コメント欄)		
吸入手技確認			

お手数ではございますが、こちらの指導書のFAXをお願いします。
 浜松医療センター医療連携室 FAX 053-452-9217

1. クローズドブラス法 (直接、口にくわえて吸入する方法)

1 アタプターの吸入口を歯の間で軽くくわえ、クチビルでしっかり包んで下さい。



2 苦しくならない程度に息を十分吐き出します。



3 続いて、息を吸い込み始めると同時にアルミ容器の底を1回押して、薬をゆっくり吸入して下さい。



4 そのまま口を閉じ、ゆっくり5つ数える間、息を止めます。



5 ゆっくり息を吐き出して下さい。

※これで1回の吸入が終わりです。1回に2吸入以上指示された方は①～⑤を繰り返し返して下さい。



1 口から3～4センチ離れた状態で構えます。



2 苦しくならない程度に息を十分吐き出します。



3 続いて、息を吸い込み始めると同時にアルミ容器の底を1回押して、薬をゆっくり吸入して下さい。



6 ノドに薬が残らない様、吸入の後すぐうがいを行います。使用後はキャップを閉め、清潔に保管して下さい。

